

建設水道委員会会議録

1. 開催年月日

令和5年2月2日 開会 9時58分 閉会 10時40分

2. 開催場所

委員会室

3. 出席委員名

山下 憲 雄 細 羽 敏 彦 沖 久 教 人 惣 台 己 吉
西 田 久 志 宮 地 俊 則

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議 長 大 滝 文 則

(2) 副議長 荒 木 謙 二

(3) 事務局職員

事 務 局 長 和 田 広 志 事 務 局 次 長 藤 井 隆 史
主 任 塩 出 英 也

6. 傍聴者

(1) 議 員 三宅孝之

(2) 一 般 0名

(3) 報 道 0名

7. 発言の概要

委員長（山下憲雄君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから建設水道委員会を開催いたします。

〈議長挨拶〉

委員長（山下憲雄君） 本日の議題は、1、議会への提案についてから、2、その他でございます。

〈議会への提案について〉

〈議会への提案1件目について、回答案を協議し、決定した〉

〈議会への提案2件目については、執行部へ意見を求めることに決定。執行部の意見を基に正副委員長で回答案を作成し、次回委員会で協議することに決定〉

〈その他〉

委員長（山下憲雄君） 次に、その他でございますが、こちらから特にございませんが、委員の皆さんからございましたらよろしくお願ひいたします。

委員（西田久志君） 所管事務調査については、どの時点で提出すれば、ここへ原案を持っているんですけど。

委員長（山下憲雄君） その所管事務調査をこの2月議会で実施しようとしたときの流れですから、まず今日ここでお考えがあればそれをご提案いただいて、皆さんにこういうことを考えておるといふことでお示しいたごさい。まず、それをお聞かせください。

委員（西田久志君） 口頭で。

委員長（山下憲雄君） はい。

委員（西田久志君） 所管事務調査といふことで、調査事項は、豪雨時における小田川の災害対策について。

調査の目的。近年大規模な豪雨によって日本各地で河川による災害が発生している。井原市においても平成30年の豪雨災害における小田川の氾濫のように、いつまた災害が発生してもおかしくない状況であると考えられる。そこで、災害抑止のための対策について調査する。

調査の方法。委員会において質疑。

調査期間。委員会開催日。

執行部への質疑事項。1、芳井地区での河川氾濫防止対策について。2、井原地区での河川氾濫防止対策について。3、これは県のほうになるんですけど、木之子町の河川内の雑木伐採計画について、あるのかないのかも含めて。4、倉敷市地区での小田川の付け替え工事の進捗状況について。

資料要求として、関係工事の内容が分かる資料。

次長（藤井隆史君） 口頭ではなかなか説明が難しいので、コピーして配付させていただきますでしょうか。

委員長（山下憲雄君） 西田委員、コピーをしてもらうといふことでよろしいですね。

委員（西田久志君） はい、コピーを。

〈休憩中、所管事務調査事項提案書の写しを委員へ配付〉

委員（宮地俊則君） 今、所管事務調査を提案していただきました。西田委員の提案、大変結構だと思いますのでぜひ進めていただきたいと思います。小田川となつとるんですが、高屋川も前回氾濫して、高屋町においても三十数戸、車では五十何台浸水して没になりましたし、家が結局7軒取り壊されております。そういったことから、まだ防災工事が氾濫防止対策、完了しておりませんので、小さくてもあれ一級河川高屋川でありますので、県工事になるわけなんです。それも併せて、ですから最初の所管事務調査のところに、小田川並びに高屋川の災害対策という形にさせていただいて、下の質疑事項に高屋町での河川氾濫防止対策についてというのも一文ぜひ付け加えていただければと思います。

もう一枚の、この細かなところにもぜひ高屋町の高屋川ということを書き加えていただければありがたいと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。

委員長（山下憲雄君） 西田委員、今の調査事項のテーマについて、高屋川も含めていただきたいというご意見でございます。それから、質疑事項についても同じく高屋川の氾濫防止について付け加えていただけたらというご意見です。

委員（西田久志君） 分かりました。

委員長（山下憲雄君） それでは、そこを付け加えていただきたいと思います。

内容については皆さんいいということですので、これは、委員会開催日のみでよろしいんですね。期間は当日のみ。

委員（宮地俊則君） これ、もちろん最初は委員会開催日なんですけど、2月定例会開会中の建設水道委員会だと思うんですけど、その後、質疑で十分な回答が出なければ延長もあり得るじゃないかと思えますんで、今1日と限定するにはちょっと早いんじゃないかなと。

委員長（山下憲雄君） それなら、この調査期間のところは一応開催日というふうに明記しといて、内容によっては延期もあり得るということですね。そういうことは事前にここへ明記することで、この形でよろしいんでしょうか。

委員（惣台己吉君） あれ宮地委員、継続審査ということにはならないんですか。

〈休憩中、継続審査について協議〉

委員長（山下憲雄君） それでは、この調査期間については委員会開催日としておきまして、その執行部とのやり取りの中で継続審議にするなり次回の建設水道委員会に引き継ぐなりは、その成り行きを見ながら決定をしていきたいと思えます。

〈なし〉

委員長（山下憲雄君） 事務局、これについては何かございませんか。

〈なし〉

委員（宮地俊則君） 今、言っていたのはもちろんその他の項目でいいんですけど、今度2月定例会の前に、いついつまでに出してくださいというのをまた事務局から案内来ますよね、委員会に対する所管事務調査。それで、さらに開会日の委員会で再度諮って、どうしますというの、まだもう一度やりますよね。

委員長（山下憲雄君） そうですね。

委員（宮地俊則君） その流れで、そのときにこれも再度、もう一度審議していただければと思います。

委員長（山下憲雄君） それでは、西田委員、これをまたまとめていただきまして、そのときにご提出いただきたいと思います。

委員（西田久志君） 分かりました。

〈なし〉

〈議長挨拶〉

委員長（山下憲雄君） 以上で建設水道委員会を閉会いたします。ありがとうございました。